

# おおたけ市議会だより

OTAKE CITY

2020  
(令和2年)

11

No.203

- ◆第4回臨時会/議会日誌 2ページ
- ◆第5回定例会 3ページ
- ◆一般質問 5ページ
- ◆本会議及び委員会の動画配信 9ページ
- ◆審議結果表 10ページ
- ◆決議案第1号原案可決による意見書 11ページ
- ◆請願/12月議会日程 12ページ
- ◆請願採択による意見書 13ページ
- ◆議会報告会 14ページ
- ◆スマイルインタビュー あとがき 16ページ



# 第4回 臨時会

第4回臨時会は、令和2年8月17日、18日の2日間行われました。

## 総務文教委員会 主な審査内容

●令和2年度大竹市  
一般会計補正予算  
(第7号) について

**Q** 地域公共交通整備事業で、タクシー一台あたり12万円の給付の算定根拠について問う。

**A** 市内のタクシー事業者に車両一台当たりの年間経費を伺うと、約24万円であった。議決が得られれば半年分程度の支援をするため、このような算定となった。

**Q** 出産育児応援給付金給付事業で、令和2年4月28日から令和3年3月31日までに、大竹市に住民登録のある世帯に生まれた子どもを対象とした理由について問う。

**A** 既に実施されている特別定額給付金は、令和2年4月27日までに生まれた子どもが対象となっている。しかし、現在も感染状況は変わっていないため、同学年となるすべての新生児に給付金が支給できるように、新たに給付事業を実施しようとするものである。

**Q** クーポン券発行事業の、委託先と、参加店の対象業種、市民への周知方法について問う。

**A** 委託先は大竹商工会議所を予定している。また、対象業種については、市内に事務所や店舗を有する全ての業種と考えている。市民への周知は、市広報・ホームページの他、クーポン券を郵送する際に、本事業の案内や利用できる店舗等の情報を合わせて送付する。

**Q** キャッシュレス推進事業で、還元対象となる決済の事業者は決まっているのか問う。

**A** 決済の事業者は、市内で利用できる店舗が多くあること、新たな導入機器等で費用が発生しないことなどの理由から、PayPay株式会社のPayPayを利用する予定である。

採決の結果、原案のとおり可決



本会議での採決の結果

原案のとおり可決

## 議会日誌

8月～10月

- 8月 1日 議会報告会（木野集会所、松ヶ原集会所、農林振興センター）
- 7日 議会運営委員会
- 17日 臨時会  
総務文教委員会
- 18日 臨時会
- 20日 議会改革特別委員会  
広島県地方港湾整備促進期成同盟会総会（呉市）
- 28日 議員全員協議会  
各派代表者会議
- 9月 1日 議会運営委員会  
広報広聴特別委員会
- 8日 議会運営委員会  
本会議
- 9日 本会議
- 10日 総務文教委員会  
総務文教委員政策研究会
- 11日 生活環境委員会  
生活環境委員政策研究会

- 14日 基地周辺対策特別委員会  
議会改革特別委員会  
議員全員協議会
- 18日 議会運営委員会  
生活環境委員会
- 23日 本会議  
決算特別委員会
- 30日 広報広聴特別委員会
- 10月 5日 決算特別委員会
- 8日 広報広聴特別委員会
- 9日 決算特別委員会
- 12日 決算特別委員会
- 13日 決算特別委員会
- 14日 決算特別委員会
- 19日 議会改革特別委員会
- 23日 大竹・和木・岩国地域議会環境対策協議会
- 【視察来訪】
- 8月 25日 山口県和木町議会  
「ペーパーレス化及び会議システムについて」

# 第5回 定例会

## 総務文教委員会 主な審査内容

●財産の取得について  
高規格救急自動車  
(車輛・救急用資機材)

Q 今回取得する新規車輛の装備において、既存車輛より性能が優れたものがあるか問う。

A 車輛には、傷病者への揺れを軽減させる防振架台を従前から装備している。近年ベース車輛の耐振動性能が向上していることから、前後加速度による揺れの吸収に優れた仕様に改め、傷病者の負担を軽減する。また、全周囲モニター及び先進安全機能を新たに備え、運転する隊員の負担を軽減することで、救急活動時における安全性を強化した。



救急車内部

●職員の特殊勤務手当に関する  
条例の一部改正について

Q 新型コロナウイルス感染の疑いがある時点で、対処のための作業に従事した場合、特殊勤務手当が適用されるのか。また、再任用職員や会計年度任用職員でも対象となるのか問う。

A 緊急搬送の時点で感染しているかは不明だが、搬送先の医療機関において、PCRなどの検査が必要であると判断された場合は、特殊勤務手当の対象となる。また、大竹市の職員であればいずれも対象となる。

●大竹会館条例の  
一部改正について

Q 大竹会館の改築後、すぐに指定管理に移行するのか。また、支所業務も一部は指定管理に移行するのか問う。

A 大竹会館は、民間のノウハウを發揮できる施設であるため、将来的には、指定管理者に管理運営を委ねたいが、改築後すぐの移行は考えていない。

当面はこれまでどおり運営していく方針である。しかし、支所業務については、民間に包括委託できる可

能性を模索したが、現在支所で行っている業務と比べ、大幅な市民サービスとの低下となるため、民間委託はしない予定である。

●令和2年度大竹市一般会計  
補正予算(第8号)

Q 障害者等自立支援給付事業の内容と、対象事業所がいくつあるのか問う。

A この事業は、市内に障害者福祉サービス事業所をおく法人が、職員や利用者の新型コロナウイルス感染症予防対策に要したマスクや消毒薬の購入などの経費の一部を助成する。一法人につき、10万円を上限とし、地方創生臨時交付金を活用した本市の独自事業であり、対象事業所は9つである。

Q 放課後児童クラブ管理システム導入委託料の内容について問う。

A この管理システムは、放課後児童台帳を電子化し、管理することを目的としている。保護者が納める負担金は納付書により、金融機関窓口で納付されていたが、これを導入することで、口座振替が可能となる。

●その他の議案 1件

採決の結果、すべての議案が  
原案のとおり可決



【反対討論】

○「放課後児童育成事業について、支援員の数を増やすことができる改正であるが、現行の体制より後退の恐れがある。」

【賛成討論】

○「放課後児童クラブの1教室15名程度を目安とし、教室を1つ増やしたい事由による条例改正である。保護者も安心して仕事ができる環境になると思われる。」

本会議での採決の結果

原案のとおり可決

第5回定例会は、令和2年9月9日～9月23日の16日間行われました。  
 詳細については、令和2年12月ごろに本会議録が製本されますので、市ホームページ、  
 市情報公開コーナー、図書館等でご覧ください。市ホームページから録画中継もご覧いただけます。

## 生活環境委員会 主な審査内容

### ●大竹市印鑑条例の 一部改正について

Q 今回の条例改正により、代理人  
 が印鑑登録証明書の交付を申請する  
 際に申請書への押印が不要になると  
 のことだが、その他のすべての証明  
 書の申請においても、代理人の押印  
 は不要なのか問う。

A 他の証明書の申請でも、代理人  
 の押印が必要になるものは、規定上  
 ない。本人確認を徹底しており、確  
 認ができた場合は、押印は求めてい  
 ない。申請者が本人確認書類を所持  
 していない場合は、複数の質問をす  
 ることにより本人確認をし、そのつ  
 えで押印をもらう場合はある  
 が、原則として押印は必要ない。

### ●大竹市国民健康保険条例の 一部改正について

Q 新型コロナウイルス感染症の影  
 響等により、医療機関を受診する人  
 が減っているということを聞く。こ  
 うした状況が、国民健康保険の医療

費等の数値において、実際に影響が  
 出ているか問う。

A 国民健康保険の医療費の総額  
 は、被保険者数の減少の影響も受け  
 ている。一人あたりの医療費につい  
 て、前年の同月と比較した結果、3  
 月診療分は増加したが、緊急事態宣  
 言が出された4月診療分は9%程  
 度減少し、5月診療分は2%程度  
 減少した。

緊急事態宣言解除後の6月診療分  
 は2%程度増加したが、新型コロナ  
 ナウイルスの感染者が再び増加した  
 7月診療分は9%程度減少、とい  
 う状況である。

### ●令和元年度大竹市公共下水道 事業会計剰余金の処分及び 決算の認定について

Q 新町雨水排水ポンプ場に係る、  
 小瀬川左岸への放流管占用協議に関  
 する調査検討業務委託について、業  
 務の内容と発注の予定を問う。

A 新町雨水排水ポンプ場について  
 は、排水路の整備や、管路の敷設、  
 用地買収など、事業を進めるために  
 様々な課題があるなか、当面は、新  
 町雨水排水ポンプ場から小瀬川への  
 排水方法について整理をしていく必  
 要があると考えている。小瀬川の左  
 岸に遊歩道が整備されたことなど、

現地の状況が変わったということも  
 ある。

調査検討業務委託では、現在示し  
 ているルート以外に、既設の市道内  
 に排水管を敷設することが可能であ  
 るか、また、現在示しているルート  
 の先が遊歩道の降り口で支障になっ  
 ているため、太田川河川事務所とも  
 協議のうえ、別ルートについても  
 概略を検討したいと考えている。現  
 在は、発注に向け、準備しており、  
 10月ごろの入札予定を考えている。



小瀬川左岸遊歩道

### ●工事請負契約の締結について (仮称) おがたこども園 建設工事(建築主体工事)

Q 現在、本庁舎耐震改修工事が施  
 工されており、工期は今年11月26日  
 までとなっている。議案の(仮称)  
 おがたこども園建設工事の工期は、  
 議決の日の翌日からであり、工期が  
 重なる部分があるが、影響なく調整  
 できるのか問う。

A 本庁舎耐震改修工事の現場作業  
 は10月23日頃に完了の予定であり、  
 現場事務所は、10月末に撤去の予定  
 である。

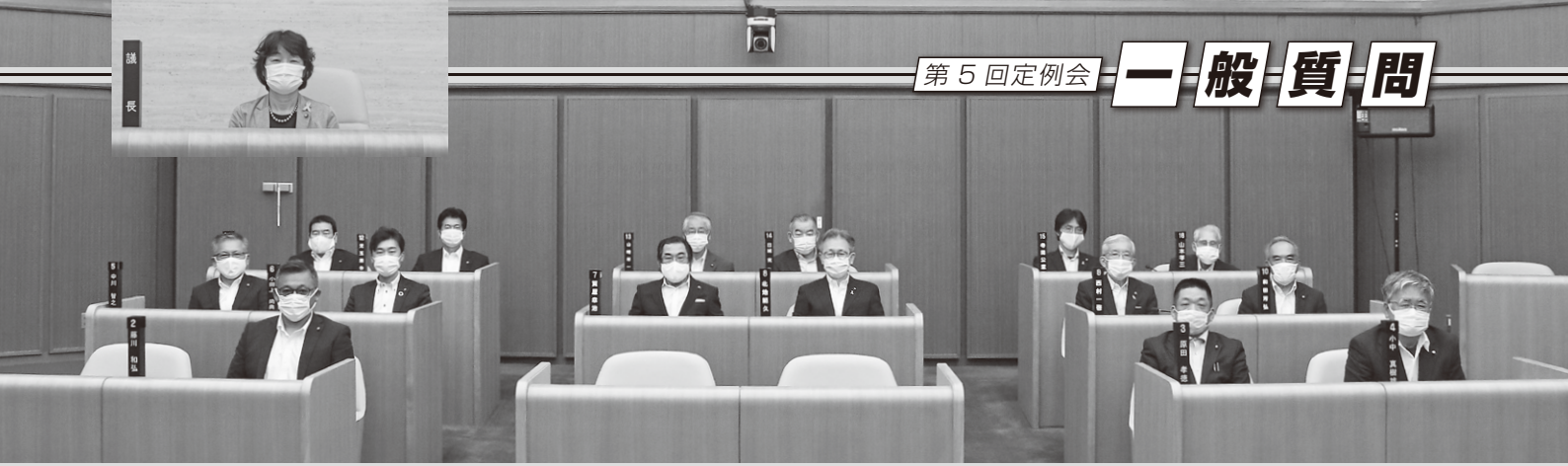
また、本議案の工事は、発注にあ  
 たり工程表を作成しており、契約締  
 結後、建築主体の工事に入るのは、  
 来年1月からの予定であるため、工  
 期が重なることによる影響はない。

### ●その他の議案 8件

採決の結果、すべての議案が  
 原案のとおり可決



本会議での採決の結果  
 原案のとおり可決



**小中 真樹雄**

- 小学校・中学校のオンライン授業の制度設計について問う

**寺岡 公章**

- 子ども達の学びと育ちを確保するために

**日域 究**

- 栗谷線バスの利用促進を問う
- 大竹地区の雨水排水について問う
- 小方まちづくりについて問う

**和田 芳弘**

- 空家対策について

**原田 孝徳**

- 「人口減少」「安心安全」「優先順位」～小方・玖波のまちづくりと中山間地域の防災、そして新町ポンプ場の問題～

**小田上 尚典**

- 公共交通の経路検索から見るオープンデータの今後について
- 公共施設における公衆無線 LAN の整備・活用について

**山本 孝三**

- 新型コロナウイルス感染防止対策について
- 小瀬川水系の三つのダム放流による災害防止等について

**北地 範久**

- 主要建設事業の進捗状況について
- 緊急時に対応できる道路整備について

**問** 新型コロナウイルスによる長期の学校休校により、小・中学校の夏休みが大幅に短縮されました。総務文教委員会で視察に行った大阪府箕面市では、今夏、児童・生徒約1万2000人を対象にオンライン授業を実施。一定の成果と課題を集約したようです。そこで市教委に問います。①1人1台に向けタブレット調達のメドは立ちましたか。②指導教員の習熟度を高めるための講習の実施方法は。③家庭での通信環境の状況調査の結果と、通信環境のない家庭への対処方法は。④普段の授業でのタブレットの活用方法は。⑤8月23日付毎日新聞で小熊英二・慶応大教授がコロナ禍による教育格差の拡大を憂えています。市教委の見解を聞かせてください。

小・中学校のオンライン授業の制度設計について問う



小中 真樹雄



箕面市教委の説明を聞く

**答** **教育長** ①3学期の早い時期の配備に向け、事務を進めています。②県教育委員会に講師を依頼し、各校の担当者などを対象に、10月に研修を実施する予定で、受講した教職員が他の教職員に伝達することを想定しています。また、端末配備後に操作説明を全校で実施します。③Wi-Fi環境のある家庭は約90%、通信環境のない家庭は約2%で、他市町の状況を注視し、対処方法を慎重に判断します。④一斉学習、個別学習、協働的に学び合うグループ学習が考えられます。⑤このような状況だからこそ、教職員が児童生徒をしっかりと見つめ、基礎的な知識・技能を定着させるとともに、しっかりと考えさせ、考えたことを表現させていく授業を確実に実施したいと考えています。

**答 教育長** 一斉臨時休業に伴い、授業が遅れが生じているため、夏季休業日の短縮や学校行事などを中

**問** 学校行事が中止・延期・規模縮小され、例年では学校行事が担ってきた児童生徒の学習機会、成長機会が昨年度末以降、損なわれたままです。  
 行事の持つ教育的意義の達成や、もたらされる郷土愛の醸成を欠いたまま卒業を迎えることは、将来の社会の大きな損失につながりはしないかと心配しています。  
 学習機会、成長機会の損失について、学校教育でできる補充、家庭へのアプローチ、社会教育が担える取組みについてうかがいます。また保育所などの様子はいかがでしょうか。

子ども達の学びと育ちを確保するために



寺岡 公章



「無言清掃」は感染予防にも

止・変更しながら、授業時数を確保し、学習の遅れを取り戻すことができるよう取り組んでいます。学校では、中止になった学校行事や学習に代わるものを計画するなど、感染症対策と教育活動の両立を図りながら、学習や成長の機会を可能な限り補完していきたいと考えています。  
 家庭へは、保護者に対し教育長名でメッセージを送ることを考えています。社会教育は、今後を見据えてオンライン講座などにも取り組んでいきたいと考えています。  
**市長** 保育所などでの未就学児の様子は、幸いにもこのような状況下でも、感染症対策がされた環境で、元気に伸び伸びと過ごしています。

**答** 令和5年度までは現行の市地域公共交通網形成計画に沿い、運行サービスの維持を基本に、事業者と必要な改善について検討します。高齢者割引についても福祉の観点から福祉部局、市民の皆様と話をしながら検討していきます。

**問** 地区から出された問題を論じた今回の報告会、栗谷会場はバス問題でした。乗客がほぼいない状況下、会場で判明したのが岩国市の高齢者百円制度。安くても空気を運ぶよりはまし。利用者がいてこそ赤字も意味がある。バス支援策を調べてみれば、広島県は収支重視で山口県は乗客密度。利用者数を補助の要件とする山口県の方が理に叶う。高齢者割引の導入の検討を。

議会報告会で見えた

栗谷線問題



日域 究



大雨後も流れない油見の水路

**答** 排水路の流下能力は、水路断面の大きさと水の流れの速さによります。速さは水路勾配の影響を受けることや、水路断面の大小もあるため、一概に毎時何mmの降雨に対応できるかについては把握できていませんが、これからも雨水対策にはしっかりと取り組んでいきたいと考えています。

**問** 栄町と新町は水路問題が主役でした。新町ポンプ場の問題とされますが、水路も狭すぎます。現状は毎時何mmの雨まで耐えられますか。

雨水排水問題が報告会の主役



和田 芳弘

空き家対策について

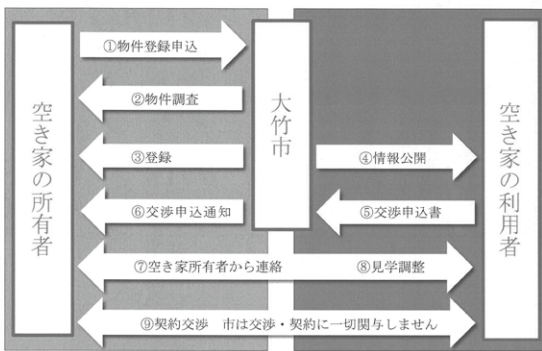
**問** 空き家の利用促進のために平成30年度から大竹市空き家バンクを設立していますが、空き家バンクの登録が進まない状況を市はどのように捉えていますか。

**答** 特定空家等の候補11件中指定した残りの6件について指定を急ぐべきではないか伺います。

**答** 空き家バンクの登録物件がない理由として、市場性の高い売れる物件は、空き家バンクに登録するのではなく、民間事業者で流通しているためと考えます。空き家対策の一環として、空き家バンク制度は少なからず効果があると認識しており、今後も十分検討したいと考えています。

本市では、指導・助言先である所有者を確定した上で、特定空家等の認定をしています。特定空家等候補

空き家バンクのしくみ



空き家バンクポスター

6件のうち1件は、空き家所有関係者と協議し、解体していただくことができました。残り5件は、引き続き、所有者の把握に取り組みんでいます。



原田 孝徳

人口減少問題から、優先順位を問う

**問** 人口減少が止まらない。昨年は、全国で約50万人もの人口が減少し、減少率は最大となった。人口減少問題の打開策は、それを少しでも食い止める策の構築と市民への安心安全の提供、この二つをハイブリッドで押し進める必要がある。

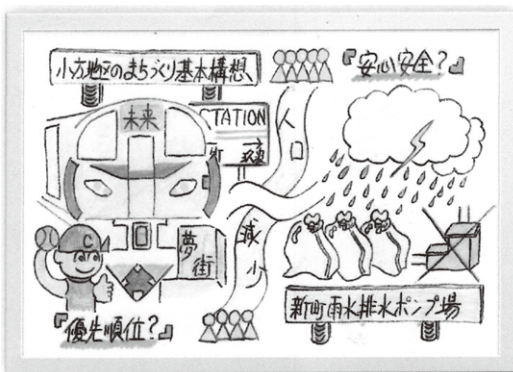
小方地区のまちづくり基本構想は、それをトータルとして良い方向に導く可能性を秘めているが、玖波地区の著しい人口減少や中山間地域の防災、そして新町雨水排水ポンプ場の問題は、市民の生命、財産、生活の確保に暗い影を落としている。

そこで、安心安全という観点から、どのような優先順位で事業やその解決法を考えているのか、市長の率直な思いを問う。

**答** 小方地区のまちづくり事業は、社会情勢の変化なども踏まえて効果を検証しながら慎重に進めます。玖波地区の人口は、駅西口整備など地域の活性化に取り組みできたものの減少傾向は続いており、引き続き地域住民の不安解消に努めます。中山間地域の防災は、居住区域が広く重点的な対応が難しいため、市民の身を守る行動につながるような情報発信に努めます。

新町雨水排水ポンプ場の整備は、費用だけでなく人員体制なども整えて進める必要があり、既存の雨水排水対策も含めてできるところから取り組んでいきます。

これらの事業に優先順位をつけるのは容易ではありませんが、市民の生命、財産を守ることを最優先に取り組んでいきたいと考えています。





小田上 尚典

市内公共交通の経路検索と  
オープンデータについて

**問** スマホなどで市内幹線バス「こいこいバス」の経路検索が可能になりました。今後、市内の公共交通機関の乗降客数増加のため、更に路線等を拡大すべさと思いますが、いかがですか。また、国が努力義務を課している基本計画を策定し、オープンデータとして公開しませんか？

**答** 今年度中に、他の路線も検索可能にしたいと考えています。今年度、県の基本計画が公表された後、本市でも基本計画の策定を検討します。また、広島広域都市圏協議会を活用するなどオープンデータの活用に向けた環境整備を検討します。

公共施設の無線LAN等の  
ネット環境について

**問** 以前もお願いした、公共施設の無線LAN環境の整備状況は？災害時の利用だけでなく、平常時での利用は様々な市民活動をはじめ、GIGAスクール構想で児童・生徒へタブレット貸与が決まっているこの時期から考えていくべきだと思いますが、お考えを伺います。

**答** 現在、本市の施設には、公衆無線LANを設置していませんが、改築中の大竹会館には、設置する予定です。また、地域BWAの機器を公衆無線LANとして活用する予定です。設置に必要な費用と必要性を考慮し、設置を検討します。



新型コロナウイルス  
感染防止対策について



山本 孝三

新型コロナウイルス  
感染防止対策について

**問** 新型コロナウイルス感染症の現状は、安心できる状況ではありません。インフルエンザ流行の時期を控え、市民の心配も不安も拭えず、市として全国各地で導入されている自動PCR検査の実施・インフルエンザ予防接種に対する負担軽減など実施すべきです。

**答** 広島県では、検査体制のさらなる拡充や検査対象拡大による感染者の早期発見など、感染拡大防止の取組が新たに進められており、市としては、まずこうした情報の発信や感染拡大防止のための周知啓発などをしっかりと行っていきます。

ダム放流による  
災害防止策について

**問** 利水優先のダム管理がようやく改められ、下流地域の被害防止のため「事前放流」が実施されることとなりました。放流の運用はどうか聞いていますか。また、小瀬川護岸強度の点検実施などについて要望しますが、台風シーズンを控え、どのように対処されているのでしょうか。

**答** 事前放流は国の方針やガイドラインに基づき、大雨が予想される3日前から放流するための運用が開始されています。放流に当たっては、流下能力低下の原因となる河川の中州の樹木の定期的な伐採などにより、十分な流下能力を確保する取組が進められていると伺っています。





**答** 現時点で、新型コロナウイルス感染症を理由とした入札の中止や、受注者からの工期延長の申出等の相談はありません。応札者がなく入札が中止となったものが2件、工期の見直しが必要となったものが1件あります。その他は概ね順調に契約を締結し、工事に着手しています。

**問** 今年度スタートした大型予算ではあるが新型コロナウイルス感染症の蔓延により世の中は一変した。  
計画的に進めるべき建設事業について、当初計画と比べ、コロナ禍の影響や、残り半年となった工期も含め、進捗状況がどのようになっているのか伺います。

主要建設事業の  
進捗状況について



北地 範久



完成間近の大竹会館新築棟本館

**答** 災害が頻発する中、交通ネットワークの多重化は重要性を増しており、整備の必要性を認識しています。今年度、廿日市市がこの道路の整備の検討に着手し、現地調査やルート検討を行っています。今後は、両市で協議、調整を進めたいと考えています。

**問** 玖波地区や鳴川地区の国道2号と高速道路の間に、緊急時の迂回路を兼ねた生活道路の整備が必要と思うが、この道路整備の計画の状況がどのようになっているのか伺います。

緊急時に対応できる  
道路整備について

## 本会議及び委員会の動画配信中

大竹市議会では本会議の録画映像を動画で配信しています。  
また、令和2年9月より常任委員会のライブ配信及び録画映像の配信を始めました。  
下記のQRコードを読み取っていただくと、動画配信サイト (YouTube) へ移行し視聴できます。



YouTube 大竹市議会



で検索 /



### 【注意事項】

- ①この議会中継は、本市議会の公式記録ではありません。
- ②動画配信サイト (YouTube) とは契約関係にありません。録画映像の公開はおおむね2年を予定していますが、動画配信サイト (YouTube) の都合により事前に終了することがあります。
- ③画面に企業広告等が現れることもありますが、本市議会と一切関係ありませんのでご注意ください。また、広告等によるいかなる理由での損害についても本市議会は一切の責任を負いません。
- ④ご使用になる機器・接続環境によっては、動画をご覧いただけないこともありますので、あらかじめご了承ください。

## 第4回市議会（臨時会） 議案の審議結果表（主な議案）

議案など	細川雅子	藤川和弘	原田孝徳	小中真樹雄	中川智之	小田上尚典	賀屋幸治	北地範久	西村一啓	和田芳弘	網谷芳孝	児玉朋也	山崎年一	日域 究	寺岡公章	山本孝三	審議結果
議案第59号 令和2年度大竹市一般会計補正予算(第7号)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

## 第5回市議会（定例会） 議案の審議結果表（主な議案）

議案第63号 大竹市印鑑条例の一部改正について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第64号 職員の特殊勤務手当に関する条例一部改正について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第66号 大竹市国民健康保険条例の一部改正について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第67号 大竹会館条例の一部改正について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第68号 大竹市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	原案可決
議案第70号 財産の取得について（高規格救急自動車（車輛））	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第73号 令和元年度大竹市公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決及び認定
議案第74号 令和2年度大竹市一般会計補正予算(第8号)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第75号 令和2年度大竹市介護保険特別会計補正予算(第1号)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第76号 令和2年度大竹市公共下水道事業会計補正予算(第1号)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第77号 工事請負契約の締結について（（仮称）おがたこども園建設工事（建築主体工事））	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
決議案第1号 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

この表は本会議で採決のあと、本人の申告にもとづいて作成したものです。

一：議長 ○：賛成 ●：反対 欠：欠席

### 「市政のあらまし(令和2年版)」を販売しています。(1冊1,000円)

市のあゆみ、人口規模や予算・決算状況をはじめ、市の業務全般にわたる状況が集約されています。

議会事務局（市役所5階）で販売しています。

大竹市情報公開コーナー、図書館等でも閲覧できます。

決議案第1号の原案可決をうけて、次の意見書を提出しました。

## 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延し、わが国は、戦後最大の経済危機に直面している。地域経済にも大きな影響が及び、本年度はもとより来年度においても、地方税・地方交付税など一般財源の激減が避けがたくなっている。

地方自治体では、医療介護、子育て、地域の防災・減災、雇用の確保など喫緊の財政需要への対応はじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、地方財政は巨額の財政不足を生じ、これまでにない厳しい状況に陥ることが予想される。

よって、国においては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

### 記

- 1 地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税などの一般財源総額を確保すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること。
- 2 地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能の両機能が適切に発揮できるよう総額を確保すること。
- 3 令和2年度の地方税収が大幅に減収となることが予想されることから、思い切った減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても、地方消費税を含め弾力的に対応すること。
- 4 税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策税制については、積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続に当たっては、有効性・緊急性を厳格に判断すること。
- 5 とりわけ、固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは家屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。先の緊急経済対策として講じた特例措置は、臨時・異例の措置として、やむを得ないものであったが、本来国庫補助金などにより対応すべきものである。よって、今回限りの措置とし、期限の到来をもって確実に終了すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年9月23日

広島県大竹市議会議長 細川 雅子

(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、経済再生担当大臣、まち・ひと・しごと創生担当大臣

# 請 願

<p><b>【請願名】</b>  <b>少人数学級の推進を含む計画的な教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2021年度政府予算に係る意見書採択の要請についての請願</b></p> <p><b>【提出者名】</b>          連合広島大竹・廿日市地域協議会          議長 岡村 将城</p> <p>広島県教職員組合大竹廿日市支区          委員長 川尻 和浩</p>	<p><b>【要旨】</b></p> <p>学校現場では、いじめ・不登校等の深刻な問題を抱える児童生徒への対応や、障害のある児童生徒、外国人児童生徒など特別な配慮を要する児童生徒への対応等、解決すべき課題が山積しています。一方、このような複雑かつ多様な課題に対する教職員の対応は、長時間勤務という形で表れ、「学校における働き方改革」が急務となっています。</p> <p>さらに、学校における新型コロナウイルス感染症対策と子どもたちの健やかな学びの保障との両立を図っていくことも求められています。</p> <p>こうした中で、一人一人の子どもに対してきめ細やかで丁寧な対応を行うためには、働き方改革はもちろんのこと、国段階の国庫負担に裏付けされた少人数学級の推進を含む計画的な教職員定数の改善が不可欠です。また、義務教育費国庫負担制度については、国庫負担率が2分の1から3分の1に引き下げられたことにより、地方自治体の財政を圧迫しています。</p> <p>教育の機会均等が担保され、教育水準が維持・向上されるよう施策を講じ、教育予算を国全体としてしっかりと確保・充実させる必要があります。</p>	<p><b>【付託委員会】</b>          総務文教委員会</p> <p><b>【委員会の結果】</b>          採択</p> <p><b>【本会議の結果】</b>          採択</p>
--	---	--

本会議	特別委員会	//	常任委員会	//	本会議
12月17日(木)	12月9日(水)		12月7日(月)	(予備日)12月4日(金)	12月3日(木)


## 12月議会日程(予定)

市議会では、予算や条例をはじめ行政に対する一般質問など、住みよいまちづくりをめざして審議をしています。

本会議、委員会とも傍聴できますので、議会がどのように運営されているか傍聴してみませんか。

## 傍聴しませんか

## 議会を



請願の採択をうけて、次の意見書を提出しました。

## 意見書（抜粋）

学校現場では、いじめ・不登校等の深刻な問題を抱える児童生徒への対応や、障害のある児童生徒、外国人児童生徒など特別な配慮を要する児童生徒への対応等、解決すべき課題が山積しています。

一方、このような複雑かつ多様な課題に対する教職員の対応は、長時間勤務という形で表れ、深刻な状況となっており、「学校における働き方改革」が急務となっています。

さらに、学校における新型コロナウイルス感染症対策と子どもたちの健やかな学びの保障との両立を図っていくことも求められています。

こうした中で、一人一人の子どもに対してきめ細やかで丁寧な対応を行うためには、働き方改革はもちろんのこと、国段階の国庫負担に裏付けされた少人数学級の推進を含む計画的な教職員定数の改善が不可欠です。

また、義務教育費国庫負担制度については、国庫負担率が小泉政権下の「三位一体改革」の中で2分の1から3分の1に引き下げられたことにより、地方自治体の財政を圧迫しています。

将来を担い、社会の基盤づくりにつながる子どもたちへの教育は極めて重要です。教育の機会均等が担保され、教育水準が維持・向上されるよう施策を講じ、教育予算を国全体としてしっかりと確保・充実させる必要があります。

よって、国会及び政府におかれては、地方教育行政の実情を十分に認識され、地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるように、2021年度の予算編成にあたり、次の事項について、措置を講じられるよう強く要請します。

1. 少人数学級の推進を含む計画的な教職員定数改善を推進すること。
2. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること。

令和2年9月23日

大竹市議会

(提出先) 内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣、衆議院議長、  
参議院議長

# 議会報告会を開催しました

## 報告会の内容

- 議会報告 ・ 常任委員会からの報告事項
- 意見交換 ・ 質疑応答
- ・ 放課後児童クラブの民間委託について  
(全会場共通テーマ)
- ・ 会場ごとのテーマ



令和2年7月27日、8月1日の2日間、市内6会場（おがたピア・エスポワールおおたけ・サントピア大竹・木野集会所・松ヶ原集会所・農林振興センター（栗谷））で、令和2年議会報告会を開催しました。

のべ89人の方にお越しいただき、議会に関する様々なご意見、ご感想等をいただきました。

各会場の配布資料・報告書やアンケートは、大竹市（市議会）のホームページに掲載しています。左記のQRコードよりアクセスできます。

## 各班の様子(左からA班、B班、C班)



## 報告に関する主な質疑

**問** GIGAスクール構想においてWi-Fiの整備、タブレット端末の持ち出し、セキュリティについて伺う。

**答** 小・中学校にWi-Fiを整備し、全児童、生徒と教員用にタブレット端末を5年間リースする。学校での使用が基本だが、家庭に持ち帰ることは将来考えられるので、各家庭の通信環境の調査を行う予定。セキュリティについても万全を期すよう検討している。

**問** 小瀬川の遊歩道は豪雨の時に流れを制限するのは

**答** この遊歩道は国交省の管理で、洪水対策を考慮したうえで設計されている。

**問** 河川の浚渫の予定はいつなっているのか伺う。

**答** 市内の河川である、恵川・大膳川・新町川・大谷川などは、今年度から渇水期に順次、浚渫工事を行っていく。

**問** 放課後児童クラブの民間委託で、行政との役割分担により、何がよくなるのか。

**答** 施設管理維持等は行政で行い、労務管理を含めた運営業務全般を民間で行うことにより効率的な業務になると考えている。

**問** 新町ポンプ場は計画を立てて40〜50年もたっている、どうなるのか。

**答** 今年度、国と協議するための予算がついたため、少しでも前に進めるよう取り組む。

**問** 小方アンダーパスは今後どうなるのか。

**答** 歩行者用のアンダーパスを抜くことは検討してみたいとのこと。

**問** 大竹栗合線のバス料金は高齢者福祉の面からすると、高すぎる。デマンド交通と合わせて検討してもらえれば。

**答** この件に関しては、地域公共交通活性化協議会で協議している、皆さんの声が届き、使いやすいようアプローチしていきたい。

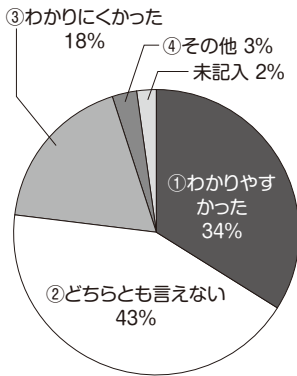
**問** 大きな範囲の避難指示が出たとき、全員避難できるのか。

**答** 避難所に全員は避難できない。自宅の2階に避難する垂直避難などもあるのでそのようにしてほしい。

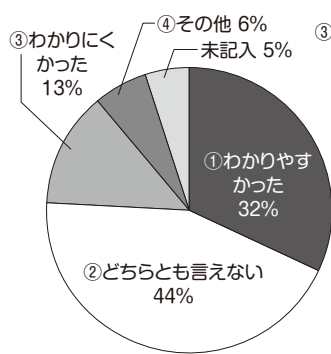
# アンケート結果 (回収数82枚)



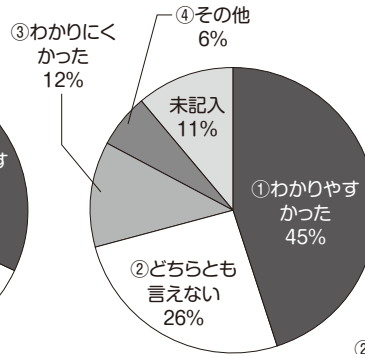
常任委員会からの  
報告事項について



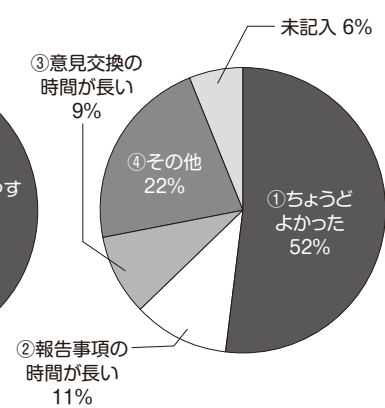
共通の意見交換テーマ  
(放課後児童クラブの民間委託)  
について



地域別の意見交換  
について



全体の時間配分  
について



## ご意見・ご感想 (抜粋)

目的等は理解できるが、この説明のみでは判断は難しい。

意見がガス抜きに終わらないようにしてほしい。

出席して良かった。知らないこともわかった。

意見を言っても既に決まっているのではむなし。

丁寧に答えようと努力されていましたが、時間の浪費だった回答もあるように思えました。

もう少し意見交換時間がほしかった。

大変意見もでて良かった。意見も参考にして今後をご検討ください。

内容(意見)の濃い報告会であった。

地図や資料が分かりにくかった。

質問されて分からないことは「わからない」と返事していいのでは。

意見交換の時間が短い。

意見は重視して、実際に生かして実現させてほしい。

市民の意見に対してどのような解決策を用意しているのか、というのを伝える手段も考えたらよいと思いました。

議会報告会の目的は、大竹市議会としての議会活動に関する情報を積極的に公開するとともに、市民の皆さまのご意見やお考えを把握し、今後の議会活動や市政運営に反映させるためのものです。

市民の皆さまからいただいた貴重な生の声は、議会に対する意見・要望については議会内で検討し、その他は執行部に報告させていただきます。

今後も、皆さまのご意見を生かし、より良い報告会、意見を聴く会にしていきたいと思います。



第30回 スマイル インタビュー



活動後、会員の方が事故でお亡くなりになり心よりお悔やみ申し上げます。

亡くなられた一本杉烈征（やすゆき）さんは84歳で最高齢にもかかわらず児童の見守りにも精力的に活動され感謝していましたが、大変残念です。

設立のきっかけは？

昭和54年ごろ、全国で学校内トラブルが多発し、校内の器物破損や公共物に落書きするなど、非行が発生していました。保護司会と自治会長を兼務していた初代会長が地域ぐるみで「青少年の育成を」提案し昭和57年に結成したのが始まりです。

活動の内容を教えてください

通学路での見守り活動をはじめ、3世代グラウンドゴルフ大会、防犯の広報活動、地域内の清掃などです。

会員の人数と年齢構成、男女比は？

推進員は42人で、50歳から80歳までの方です。うち男性が39人、女性は3人です。



朝の見守り活動

これまでの活動を振り返ってうれしかったことは？

平成26年に、32年間の活動が評価され内閣総理大臣表彰を受けました。見守り活動で児童のかわいいあいさつが返ってくる癒されます。

今後の活動目標は？

明るい街づくりで活性化し、児童の健全な育成の一環を引き続き担っていききたいと思います。

あとかぎ

今夏、市内の小・中学校の児童・生徒のみなさんは、コロナ禍による長期の臨時休校をリカバーするため、夏休みが大幅短縮され酷暑の中、登校を余儀なくされ、大変でした。

教育は対面授業があくまで大原則ですが、コロナ禍により再度の長期休校になった場合、ハイパスとしてのオンライン授業の体制構築は必要不可欠となります。

国は、今回のコロナ禍で「IGAスクール構想」を前倒しし今年度中に児童生徒一人一台のタブレットを整備する方針を打ち出しました。

市教委は今定例会で、3学期早々には、タブレットの一人一台体制を実現できるとの見通しを示したうえで、教員へのオンライン授業の習熟度向上にも力を注ぐとしています。通信環境のない世帯をどうするかについて

では今後、近隣市町村の対応を参考にしながら決めていくそうです。

市教委にはいざという時に、子どもたちが安心して授業が受けられるよう、一日も早い準備をお願いします。

広報広聴特別委員

- |      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 北地 範久  |
| 副委員長 | 小田上 尚典 |
|      | 藤川 和弘  |
|      | 原田 孝徳  |
|      | 小中 真樹雄 |
|      | 中川 智之  |
|      | 日域 智之  |

市議会だよりは市ホームページにも掲載しています。

